

看護情報管理論

単位数：2単位

○津本優子：基礎看護学講座教授

石垣恭子：兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授

1. 科目の教育方針

看護実践における情報収集・処理、問題の選択・抽出、優先順位の決定、実施、評価という基本過程に十分な検討を加え、地域社会、在宅日常生活における、地理的、時間的、空間的事象をつなぐ情報特性を用いた連携、継続、システム構築におけるの理論、手技を看護基礎科学分野の一部として位置づけ、教授する。

2. 教育目標

- 1) 看護と情報に関する基本的知識を深める。
- 2) 看護情報システムの在り方や構築方法について理解する。
- 3) 看護情報の標準化について適用を試みる
- 4) 看護情報教育について現状を知り、情報教育の在り方を認識する。
- 5) 地域医療情報システムについて理解し、認識を深める。
- 6) 情報倫理と個人情報保護法について理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 基本的にゼミ形式で実施し、学生の課題に対するプレゼンテーションに基づいて討論し、学習を深める。
- 2) ゼミは、Teams によるライブ配信を中心とする。

【評価】

授業への主体的な参加（発言等）の程度、課題レポート等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

- 1) 基本テキスト（キャサリン・Jハンナ他：看護情報学への招待、中山書店）は絶版になっているため、入手できなくてよい。
- 2) 参考文献については講義中に紹介する。

5. 教育内容

回	月/日	内 容	講師
1	4/14	課題分担の決定 情報科学の基礎 1	津本
2	4/21	情報科学の基礎 2	津本
3	4/28	看護情報学教育と専門職性	津本
4	5/12	看護情報と EBN ・看護系学会ホームページと文献検索システム ・看護情報の分析とデータマイニング	津本
5	5/19	看護情報学の成立と看護情報の特徴と分析	津本
6	5/26	病院・看護システム開発 ・システムの基本 コンピュータシステムの開発・手順	津本
7	6/2	看護データの標準化 ・看護情報の標準化例 NANDA NIC NOC OMAHA ICNP	津本
8・9		情報倫理と患者情報 ・看護情報を研究に使用する際のガイドライン ・守秘義務と患者情報の取り扱い・個人情報保護法	石垣
10・11		看護データの標準化 ・看護電子記録のための看護用語の標準化 ・標準看護用語、MEDIS 開発例と手順 看護データの標準化 ・データの集積と活用システムの構築	石垣
12		病院・看護システム開発 ・看護における情報システムの適用	津本
13		病院・看護システム開発 ・システムの基本 コンピュータシステムの開発・手順	津本
14・15		保健情報学と地域社会 ・行政における保健、医療、福祉情報システム ・介護保険とコンピュータシステム・遠隔看護とシステム	石垣
		課題レポートの提出 ・各自の分担部分を深め、考察を加えてレポートを作成する	津本

※6月2日以降の日程は、講義内で提示します。 なお、非常勤講師の担当コマは、時間割とは異なる時間になることがあります。